

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム（修学生医師向けキャリア形成プログラム）

<特徴>

- ・どこで研修してもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究（研究専従期間は義務猶予となります）をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします



1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修 (地域内・外いずれも可)	筑波大学 B	筑波メディカル B	水戸協同 A	診療所 小病院 A	小児 B	選択 B	病院 内科 A	診療所・ 小病院 A	選択 B	診療所・ 小病院 A	診療所・ 小病院 A	家庭医療に重点を置いたコース
(総合診療専門医取得)													

ケース2	初期研修 (地域内・外いずれも可)	筑波 メディカル B	筑波 大学 B	診療所 等 A	水戸 協同 A	選択 B	小児 B	病院 内科 A	水戸協同 A	選択 B	病院 総合診療科 A	病院 総合診療科 A	病院総合診療に重点を置いたコース
(総合診療専門医取得)													

ケース3	初期研修 (地域内・外いずれも可)	筑波 メディカル B	筑波 大学 B	水戸 協同 A	緩和 B	病院 内科 A	小児 A	選択 A	緩和医療に 強い診療所 A	緩和医療に 強い診療所 A	病院・ 診療所 A	緩和ケア病棟 緩和ケアチーム B	緩和医療に重点を置いたコース
(総合診療専門医取得)													

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修 (地域内)	筑波 大学 B	筑波 メディカル B	水戸 協同 A	診療所 小病院 A	病院 内科 A	選択 A	小児 A	診療所・ 小病院 A	病院・ 診療所 A			地域枠同様、専攻医の希望に応じた アレンジができます
		(猶予期間)			(総合診療専門医取得)								

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院	
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、笠間市 立病院、大和クリニック	総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同 病院、茨城西南医療センター、神栖済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	セントラル総合クリニック、利根町国保診療所	石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦 医療センター、つくばセントラル病院
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)	